

## 平成22年に実施したウメ輪紋ウイルスの病気の発生に係る調査結果について

### I. これまでの経緯

- 1 平成 21 年 4 月、東京都青梅市のウメでウメ輪紋ウイルス (*plum pox virus* (PPV)) による植物の病気の発生を確認した。
- 2 農林水産省では、同年 4 月から 11 月までの間、PPV の発生状況を確認するため、各都道府県と協力し、全国での発生状況調査及び発生範囲を特定するための調査を実施した。その結果、東京都では、青梅市の他、あきる野市、八王子市、奥多摩町及び日の出町のウメなどに感染を確認した。
- 3 平成 22 年 2 月 10 日、農林水産省は、PPV のまん延防止及び早期根絶を図るため、PPV の発生を確認した地域を植物防疫法（昭和 25 年法律第 151 号）に基づく緊急防除の防除区域に指定し、PPV の宿主植物の移動規制及び感染植物等の処分などの防除を開始した。
- 4 農林水産省では、平成 22 年においても前年と同様、①全国での発生状況調査（広域調査）及び②防除区域とその周辺地域での発生状況調査（防除区域等調査）を実施した。

### II. 広域調査

緊急防除の防除区域以外の地域における PPV の発生状況等を把握するため、全国 47 都道府県の生産園地や公園にある植物について、PPV に感染した植物がないかどうかを調査した。

#### 1 調査対象植物

ウメ、モモ、スモモ、セイヨウスモモ、ネクタリン、アンズ、オウトウその他の *Prunus* 属の果樹

#### 2 調査時期

平成 22 年 4 月～ 9 月

#### 3 調査対象園地

##### (1) 全国調査

防除区域等調査の対象地域を除く全国の主な生産園地や公園など

##### (2) 発生監視調査

平成 21 年の全国調査で感染した植物を確認した茨城県と神奈川県各 1 園地（感染した植物はすべて処分済み）及びその周辺の生産園地、公園、民家など

##### (3) 追跡調査

緊急防除の開始前に防除区域から移動した調査対象植物の移動先及びその周辺の生産園地、公園、民家など

#### 4 調査及び検定方法

- (1) 農林水産省植物防疫所の植物防疫官及び都道府県の職員が、目視により葉の病徴の有無を調査した。
- (2) 病徴が見られた植物（全国調査の場合は、病徴が見られなかった場合でも各調査区域ごとに 5 樹を無作為に選定）について、1 植物当たり 5 枚の葉を採取した。

(3) 採取した葉は、植物防疫所がイムノクロマト法で検定し、陽性となったものを LAMP 法で確認検定した。

## 5 調査結果（表 1、2）

### (1) 全国調査

全国 47 都道府県の主要な生産園地、観光園地等で調査を実施した結果、東京都足立区の生産園地 1 園地でウメ 3 本の感染樹を確認した。この地域での PPV の発生範囲を特定するため、確認された感染樹から半径 1 km の範囲にある全園地について調査を実施した。その結果、他に感染樹は見られなかった。

なお、確認された感染樹 3 本については、PPV のまん延防止のための枝打ちが行われ、本年 3 月までに抜根・焼却されることとなっている。

### (2) 発生監視調査

平成 21 年の全国調査で感染樹が確認された茨城県水戸市の園地、神奈川県小田原市の園地及びこれらの園地で確認された感染樹から半径 1 km の範囲にある園地等で調査を実施した結果、水戸市の園地においてウメ 1 本の感染樹を確認した。当該感染樹は、前年に発見された感染樹と同様、青梅市の特定の園地から譲渡された穂木を接ぎ木したものであることが判明した。それ以外の感染樹は見られなかった。

なお、茨城県水戸市の感染樹等については、速やかに抜根・焼却された。

### (3) 追跡調査

昨年の調査で PPV の感染が確認されている園地を所有している青梅市内の育苗業者が緊急防除の開始（平成 22 年 2 月）前に、国内の 10 カ所（10 府県）にウメ苗木を出荷していたことが判明したことから、当該園地からの苗木等の出荷先において発生状況調査を実施した。

その結果、滋賀県長浜市のウメ 9 本、大阪府吹田市のウメ 46 本、奈良県奈良市のウメ 5 本、桜井市のウメ 59 本で感染を確認した。

これら 3 府県 4 市の計 119 本の感染樹については、既に抜根・焼却又は本年 3 月までに抜根・焼却されることとなっている。

また、これら 3 府県 4 市で発見された感染樹の周囲での、発生範囲を特定するため、半径 1 km の範囲にある全園地について調査を行った結果、周辺に感染樹は認められず、これらの園地から PPV が拡散している事実はなかった。

なお、その他 7 県の出荷先においては、感染樹は見られなかった。

表1. ウメ輪紋ウイルスの広域調査の結果(緊急防除区域以外：都道府県別)

番号	都道府県	調査地域数	調査区域数	面積(ha)	植栽樹数	調査樹数	検定樹数	イムクロマト陽性樹数	LAMP陽性樹数	感染が確認された樹数
1	北海道	9	28	36	8,902	1,340	140	0	—	0
2	青森県	8	30	7	1,704	1,109	150	0	—	0
3	岩手県	12	30	11	2,638	1,211	150	0	—	0
4	宮城県	18	30	9	1,931	968	150	0	—	0
5	秋田県	9	55	7	1,434	1,209	275	0	—	0
6	山形県	13	44	16	2,868	2,301	210	0	—	0
7	福島県	13	50	10	2,587	1,814	250	0	—	0
8	茨城県	13	36	67	6,413	5,609	247	1	1	1
9	栃木県	14	30	7	1,897	1,062	150	0	—	0
10	群馬県	12	35	8	1,658	1,137	175	0	—	0
11	埼玉県	28	52	9	4,772	1,759	241	0	—	0
12	千葉県	15	28	4	1,313	851	140	0	—	0
13	東京都	19	28	5	1,392	750	140	3	3	3
14	神奈川県	13	33	13	2,423	1,985	158	0	—	0
15	新潟県	9	30	6	1,720	1,088	150	0	—	0
16	富山県	11	25	5	1,242	969	125	0	—	0
17	石川県	13	35	5	1,508	880	174	0	—	0
18	福井県	9	46	360	80,245	11,225	231	0	—	0
19	山梨県	8	35	39	8,145	2,086	175	0	—	0
20	長野県	19	30	6	1,659	894	150	0	—	0
21	岐阜県	8	22	9	3,217	685	110	0	—	0
22	静岡県	14	51	30	15,454	2,109	297	0	—	0
23	愛知県	9	40	9	2,220	1,345	200	0	—	0
24	三重県	6	36	21	8,340	1,485	180	0	—	0
25	滋賀県	6	30	1	1,909	1,878	801	9	9	9
26	京都府	16	32	9	2,775	1,298	229	0	—	0
27	大阪府	29	33	162	2,529	2,529	432	50	46	46
28	兵庫県	3	30	7	1,366	1,366	301	0	—	0
29	奈良県	23	50	14	4,729	2,409	608	167	64	64
30	和歌山県	65	67	135	27,068	3,707	418	0	—	0
31	鳥取県	10	30	4	1,118	1,006	150	3	0	0
32	島根県	14	23	3	1,288	1,288	115	0	—	0
33	岡山県	25	30	15	4,036	1,110	150	0	—	0
34	広島県	14	15	3	1,114	490	76	0	—	0
35	山口県	12	20	4	1,415	799	100	0	—	0
36	徳島県	40	40	11	3,007	1,595	203	0	—	0
37	香川県	11	30	5	1,318	900	150	1	0	0
38	愛媛県	24	30	5	1,771	1,003	150	0	—	0
39	高知県	18	30	8	2,214	1,223	150	0	—	0
40	福岡県	15	31	3	1,128	928	155	0	—	0
41	佐賀県	9	30	10	2,480	1,140	150	0	—	0
42	長崎県	12	36	4	4,944	3,957	193	0	—	0
43	熊本県	12	45	18	8,205	1,686	225	0	—	0
44	大分県	13	46	13	4,360	1,815	230	0	—	0
45	宮崎県	12	31	11	4,423	1,123	155	0	—	0
46	鹿児島県	21	33	19	4,127	3,523	166	0	—	0
47	沖縄県	12	34	3	1,164	1,164	158	0	—	0
合計		718	1,635	1,167	254,170	83,808	9,833	234	123	123

※ LAMP陽性樹数の欄の「—」は検定を実施しなかったことを示す。

※ 調査地域数：ウメ・モモ・スモモ等の主要な産地の数

調査区域数：調査地域内に設定した調査の単位(連続した園地)の数。1都道府県当たりの調査区域数は30～50程度とした

植栽樹数：1調査区域内の宿主植物の総数。

調査樹数：目視調査を行った樹数。植栽樹数に応じて統計学的に設定。

表2. ウメ輪紋ウイルスの広域調査の結果（緊急防除区域以外：植物別）

種類	調査都道府県数	調査地域数	調査区域数	面積 (ha)	植栽樹数	調査樹数	検定樹数	仏ノロト陽性樹数	LAMP陽性樹数	感染が確認された樹数
ウメ	46	471	905	959	193,735	55,224	6,122	230	123	123
モモ	45	242	470	124	32,183	16,882	2,262	4	0	0
スモモ	44	128	200	45	11,788	7,253	907	0	—	0
オウトウ	11	46	85	31	8,170	3,545	404	0	—	0
アンズ	7	10	16	5	948	375	57	0	—	0
ネクタリン	4	6	7	1	195	98	20	0	—	0
サクラ	4	8	14	1	7,138	418	58	0	—	0
アーモンド	1	1	1	0	2	2	1	0	—	0
キクモモ	1	1	2	0	6	6	1	0	—	0
ヤマモモ	1	1	1	1	5	5	1	0	—	0
合計	47	914	1,701	1,167	254,170	83,808	9,833	234	123	123

※スモモには、スモモの他セイヨウスモモを含む。

※LAMP陽性樹数の欄の「—」は検定を実施しなかったことを示す。

※面積及び植栽樹数については、1つの調査区域に複数の種類の宿主植物が混植され、かつ、合計値のみが報告されている場合には、調査実施者から聞き取った種類毎の植栽樹数のおよその割合に基づき、合計値をそれぞれ按分した。

※都道府県数、調査地域数、調査区域数における合計については、上記の按分を行った場合には、重複してカウントしている。

### Ⅲ. 防除区域等調査

PPV による病気の根絶を図るため、防除区域（東京都青梅市・日の出町の全域、あきる野市・八王子市・奥多摩町の一部地域）とその周辺の生産園地、民家などの植物を調査し、PPV に感染した植物を特定した。

#### 1 調査対象植物

ウメ、モモ、スモモ、セイヨウスモモ、ネクタリン、アンズ、オウトウその他の *Prunus* 属の果樹

#### 2 調査時期

平成22年5月～9月

#### 3 調査対象園地

植物防疫法に基づく緊急防除の防除区域及びその周辺の生産園地、民家、公園など

#### 4 調査及び検定方法

##### (1) 生産園地

##### ① 500mグリッド調査

##### ア 調査範囲

東京都4市町の全域（ただし、②及び③の地域を除く）を南北500m、東西500mごとのマス目で分画（500mグリッド）し、立ち入りができない又は宿主植物がない山野を除いたグリッドを調査対象とした。

##### イ 調査方法

(ア) 500mグリッド内に存在する対象植物が植栽された園地（農業普及員等からの疑似症状、類似症状の有無に係る情報及び平成21年の調査を基に原則として1カ所を選定）について、PPVの病徴の有無を目視により調査した。

(イ) 対象植物に疑似症状又は類似症状が認められた場合は、病徴を呈する葉を採取

した。疑似症状もしくは類似症状を示す樹が認められない場合には、試料採取しなかった。

(ウ) 採取した葉は、植物防疫所がイムノクロマト法で検定し、陽性となったものを LAMP 法で確認検定した。

## ② 感染樹の周囲1km調査

### ア 調査範囲

平成21年及び22年の調査で感染樹を確認した地点から1kmの範囲を対象範囲とした。

ただし、平成22年の調査では、青梅市梅郷地区及び沢井地区の二俣尾は調査対象としなかった。

### イ 調査方法

(ア) 調査範囲内の対象植物について、PPV の病徴の有無を目視により調査した。

(イ) 対象植物に疑似症状又は類似症状が認められた場合は、病徴を呈する葉を採取した。疑似症状もしくは類似症状を示す樹が認められない場合には、試料採取しなかった。

(ウ) 採取した葉は、植物防疫所がイムノクロマト法で検定し、陽性となったものを LAMP 法で確認検定した。

## (2) 公園等

### ① 調査範囲

青梅市及びあきる野市内の観光園地

### ② 調査方法

(1)、②、イと同じ。

## (3) 民家

### ① 調査範囲

(1)、②、アと同じ。

### ② 調査方法

ア 東京都が委託した民間業者が、調査範囲内の対象植物について、病徴の有無にかかわらず、すべての植物について、1植物当たり5枚の葉を採取した。

イ 採取したサンプルは、アブラムシが付着していないことを確認した後、サンプル袋に入れ、保冷容器等により低温保管(0~10℃)した。

ウ 植物防疫所が業者から送付された葉の試料の病徴を確認し、疑似症状及び類似症状がある場合についてイムノクロマト法で検定し、陽性となったものを LAMP 法で確認検定した。

## (4) 調査結果

調査結果を表3~12にとりまとめた。

### ① 青梅市における調査結果

青梅市藤橋、今井、黒沢、吹上、駒木町、長淵、友田町、成木、西分町、勝沼、沢井、御岳本町、御岳、日向和田、新町、河辺町、千ヶ瀬町、東青梅、二俣尾、畑中、和田町、梅郷、柚木町地区(字単位)の計21地区において、感染樹が確認された。

各樹種ごとの調査内訳は、表3のとおり。

表3-1. 生産園地（梅郷地区及び沢井地区の二俣尾を除く。）

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認 された樹数
ウメ	487 (18)	6,721	353	239	239	239
モモ	17 (59)	331	4	0	—	0
スモモ	11 (33)	316	5	0	—	0
アンズ	1 (12)	24	2	0	—	0
セイヨウスモモ	0 (4)	7	1	0	—	0
オウトウ	0 (3)	7	0	—	—	0
サクラ	1 (10)	40	0	—	—	0
サクラ属	1 (0)	13	0	—	—	0
合計	518	7,459	365	239	239	239

※調査園地数：1つの調査園地に複数種の宿主植物が混植されていた場合、最も植栽樹数が多い種類に1として計上し、他の少数種については外数として( )内に計上した。(他も同様)

表3-2. 公園

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP陽性樹 数	感染が確認 された樹数
ウメ	7	2,625	354	265	261	269
モモ	0 (1)	8	0	—	—	0
スモモ	0 (1)	3	2	0	—	0
セイヨウスモモ	0 (1)	2	0	—	—	0
合計	7	2,638	356	265	261	269

※感染が確認された樹数には平成21年に感染が確認された樹の一部(8本)が含まれる。

表3-3. 民家

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認 された樹数
ウメ	525 (19)	1,837	347	111	98	98
モモ	27 (128)	248	23	0	—	0
スモモ	1 (31)	39	6	0	—	0
アンズ	2 (16)	18	7	2	1	1
セイヨウスモモ	0 (1)	1	0	—	—	0
オウトウ	0 (1)	1	0	—	—	0
ユスラウメ	1 (9)	12	0	—	—	0
サクラ属	1 (1)	3	0	—	—	0
合計	557	2,159	383	113	99	99

## ② あきる野市における調査結果

あきる野市瀬戸岡、草花、菅生、牛沼、平沢、下代継、油平、雨間、二宮、野辺、伊奈、館谷、山田、三内、上ノ台、五日市、原小宮、秋川地区(字単位)の計18地区において、感染樹が確認された。

各樹種ごとの調査内訳は、表4のとおり。

表4-1. 生産園地

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	711 (23)	6,667	614	400	396	396
モモ	17 (65)	183	4	0	—	0
スモモ	8 (46)	140	11	0	—	0
アンズ	3 (15)	101	2	0	—	0
セイヨウスモモ	4 (6)	26	0	—	—	0
オウトウ	1 (4)	7	3	0	—	0
モモ・アンズ	1	6	0	—	—	0
ネクタリン	0 (1)	1	0	—	—	0
アーモンド	0 (1)	1	0	—	—	0
サクラ	1 (3)	34	0	—	—	0
サクラ属	1 (3)	14	1	1	1	1
合計	747	7,180	635	401	397	397

表4-2. 公園

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	2	不明	3	3	3	3
合計	2	不明	3	3	3	3

表4-3. 民家

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	856 (33)	1897	449	113	109	109
モモ	63 (124)	279	38	3	1	1
スモモ	16 (43)	70	20	0	—	0
アンズ	23 (25)	53	12	2	2	2
セイヨウスモモ	4 (7)	13	2	0	—	0
オウトウ	0 (1)	1	0	—	—	0
ユスラウメ	1 (3)	4	0	—	—	0
サクラ属	2 (3)	6	0	—	—	0
総計	965	2,323	521	118	112	112

### ③ 八王子市における調査結果

八王子市左入町、尾崎町、滝山町、宇津木町、西寺方町、式分方町、川町、下恩方町地区(字単位)の計8地区において、感染樹が確認された。

各樹種ごとの調査内訳は、表5のとおり。

表5-1. 生産園地

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	285 (1)	5460	158	91	91	91
モモ	2 (12)	19	0	-	-	0
スモモ	0 (9)	89	0	-	-	0
アンズ	1 (2)	15	0	-	-	0
オウトウ	0 (3)	6	0	-	-	0
サクラ	1	7	2	0	-	0
合計	289	5,596	160	91	91	91

表5-2. 民家

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	452 (36)	927	151	2	2	2
モモ	57 (88)	233	26	2	-	0
スモモ	8 (19)	35	6	0	-	0
アンズ	28 (19)	59	8	0	-	0
セイヨウスモモ	0 (2)	2	0	-	-	0
オウトウ	1 (4)	8	0	-	-	0
キクモモ	1 (1)	2	0	-	-	0
アーモンド	1 (0)	1	0	-	-	0
ネクタリン	0 (1)	1	0	-	-	0
ベニハスモモ	0 (1)	1	0	-	-	0
ユスラウメ	0 (1)	1	0	-	-	0
サクラ属	2 (1)	11	2	0	-	0
合計	550	1,281	193	4	2	2

### ④ 日の出町における調査結果

日の出町大久野、平井地区(字単位)の計2地区において、感染樹が確認された。

各樹種ごとの調査内訳は、表6のとおり。

表6-1. 生産園地

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	491 (22)	5,457	233	93	41	41
モモ	24 (60)	283	3	0	-	0
スモモ	4 (29)	73	2	0	-	0
アンズ	6 (11)	120	10	0	-	0
オウトウ	0 (1)	1	0	-	-	0
ユスラウメ	0 (1)	1	0	-	-	0
サクラ属	0 (2)	6	1	1	0	0
合計	525	5,941	249	94	41	41

表 6-2. 民家

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	754 (43)	1,471	185	13	10	10
モモ	122 (148)	368	42	3	3	0
スモモ	16 (54)	76	21	0	-	0
アンズ	42 (28)	79	7	0	-	0
セイヨウスモモ	0 (1)	1	0	-	-	0
ユスラウメ	8 (27)	38	1	0	-	0
合計	942	2,033	256	16	13	10

※モモにおけるLAMP陽性樹に関しては、PCR検定により陰性と判断した。

⑤ 奥多摩町における調査結果

奥多摩町大丹波、川井、氷川地区(字単位)の計3地区において、感染樹が確認された。

各樹種ごとの調査内訳は、表7のとおり。

表 7-1. 生産園地

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	75	785	20	4	4	4
モモ	0 (6)	9	0	-	-	0
スモモ	0 (4)	16	0	-	-	0
アンズ	0 (1)	1	0	-	-	0
オウトウ	0 (1)	2	0	-	-	0
合計	75	813	20	4	4	4

表 7-2. 民家

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	89 (13)	210	41	6	2	2
モモ	36 (20)	101	4	0	-	0
スモモ	2 (9)	11	2	0	-	0
アンズ	2 (3)	5	0	-	-	0
セイヨウスモモ	0 (1)	1	0	-	-	0
ユスラウメ	0 (1)	1	0	-	-	0
合計	129	329	47	6	2	2

### ⑥ 羽村市における調査結果

羽村市小作台、羽、羽加美、羽中、羽西、羽東地区(字単位)の計6地区において、感染樹が確認された。

各樹種ごとの調査内訳は、表8以下のとおり。

表8-1. 生産園地

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	40 (1)	621	98	63	63	63
モモ	1 (4)	30	0	-	-	0
スモモ	3	19	1	0	-	0
セイヨウスモモ	0 (1)	3	0	-	-	0
オウトウ	0 (3)	8	0	-	-	0
サクラ属	0 (1)	1	0	-	-	0
合計	44	682	99	63	63	63

表8-2. 民家

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	401 (27)	1240	212	42	40	40
モモ	35 (87)	224	28	1	0	0
スモモ	3 (24)	32	9	0	-	0
アンズ	30 (29)	66	8	1	1	1
セイヨウスモモ	0 (4)	4	0	-	-	0
オウトウ	1 (6)	9	0	-	-	0
ユスラウメ	0 (1)	1	0	-	-	0
不明	0 (1)	1	1	0	-	0
合計	470	1,577	258	44	41	41

### ⑦ 飯能市における調査結果

飯能市岩淵地区(字単位)の1地区において、感染樹が確認された。

各樹種ごとの調査内訳は、表9のとおり。

表9-1. 生産園地

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	95 (13)	729	3	1	1	1
モモ	12	33	0	-	-	0
スモモ	6	20	0	-	-	0
オウトウ	1	5	0	-	-	0
プラム	1 (1)	8	0	-	-	0
合計	115	795	3	1	1	1

表 9-2. 民家

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	175 (8)	250	0	-	-	0
モモ	29 (20)	61	0	-	-	0
スモモ	6 (7)	16	0	-	-	0
アンズ	4 (1)	5	0	-	-	0
ユスラウメ	3 (2)	5	0	-	-	0
アーモンド	1	1	0	-	-	0
合計	218	338	0	0	0	0

⑧ 福生市における調査結果

感染樹は見られなかった。

各樹種ごとの調査内訳は、表 10 のとおり。

表10. 生産園地

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	2	19	0	-	-	0
合計	2	19	0	-	-	0

⑨ 入間市における調査結果

感染樹は見られなかった。

各樹種ごとの内訳は、表 11 のとおり。

表11. 生産園地

種類	調査園地数	調査樹数	イムノクロマト 検定樹数	イムノクロマト 陽性樹数	LAMP 陽性樹数	感染が確認さ れた樹数
ウメ	15 (3)	354	0	-	-	0
モモ	3 (3)	44	0	-	-	0
スモモ	2 (3)	16	0	-	-	0
セイヨウスモモ	0 (1)	2	0	-	-	0
サクラ	2	109	0	-	-	0
合計	22	525	0	0	0	0

## ⑩ 調査結果の取りまとめ

①から⑨までの調査結果の取りまとめは、表12のとおり。

表12. ウメ輪紋ウイルスの東京都7市町及び埼玉県2市における全ての調査結果

緊急防除の防除区域及びその周辺の全ての調査結果							
市町名	調査園地数	発生園地数	調査樹数	イムノクロマト検定樹数	イムノクロマト陽性樹数	LAMP陽性樹数	感染が確認された樹数
青梅市	1,082	119	12,256	1,104	617	599	607
あきる野市	1,714	204	9,503	1,159	522	512	512
八王子市	839	10	6,877	353	95	93	93
日の出町	1,467	33	7,974	505	110	54	51
奥多摩町	204	5	1,142	67	10	6	6
羽村市	514	38	2,259	357	107	104	104
福生市	2	0	19	0	0	0	0
飯能市	333	1	1,133	3	1	1	1
入間市	22	0	525	0	0	0	0
合計	6,177	410	41,688	3,548	1,462	1,369	1,374

注1) 青梅市の梅郷地区及び沢井地区の二俣尾における目視調査を除く。  
 2) あきる野市の公園2カ所については、植栽樹数が不明のため、調査樹数に含めていない。

## Ⅶ. まとめ

- 農林水産省では、各都道府県の協力により、平成21年と同様、平成22年においても、PPVの発生状況を把握するため、広域調査及び防除区域等調査を実施した。
- 広域調査では、東京都足立区（1園地3本）、茨城県水戸市（1園地1本）、滋賀県長浜市（1園地9本）大阪府吹田市（1園地46本）並びに奈良県奈良市（3園地5本）及び桜井市（1園地59本）において感染樹を確認した。これらの感染樹については、既に抜根・焼却された又は本年3月までに抜根・焼却することとなっている。  
 なお、PPVの感染が確認されたこれらの地域については、本年以降も引き続き再発生を監視する調査を実施することとしている。
- 防除区域等調査では、東京都青梅市（119園地607本）、あきる野市（204園地512本）、八王子市（10園地93本）、日の出町（33園地51本）、奥多摩町（5園地6本）羽村市（38園地104本）及び埼玉県飯能市（1園地1本）において感染樹を確認した。これらの感染樹については、本年3月までに抜根・焼却することとしている。
- 農林水産省では、平成22年の調査でPPVの感染樹が発見された地域のうち、PPVのまん延リスクが高いと判断した羽村市等の地域を緊急防除の防除区域に追加することとして、関係規則の改正を行った。（本年2月10日から施行）  
 なお、東京都足立区、埼玉県飯能市、茨城県水戸市、滋賀県長浜市、大阪府吹田市並びに奈良県奈良市及び桜井市については、感染植物が限定的であること、感染植物の処分が早期に完了すること、引き続き緊急防除を同等の防除措置が講じられることなどの理由から、緊急防除の新たな防除区域に追加しなかった。
- 農林水産省では、平成21年及び22年と同様、本年も広域調査及び防除区域等調査を実施することとしている。